

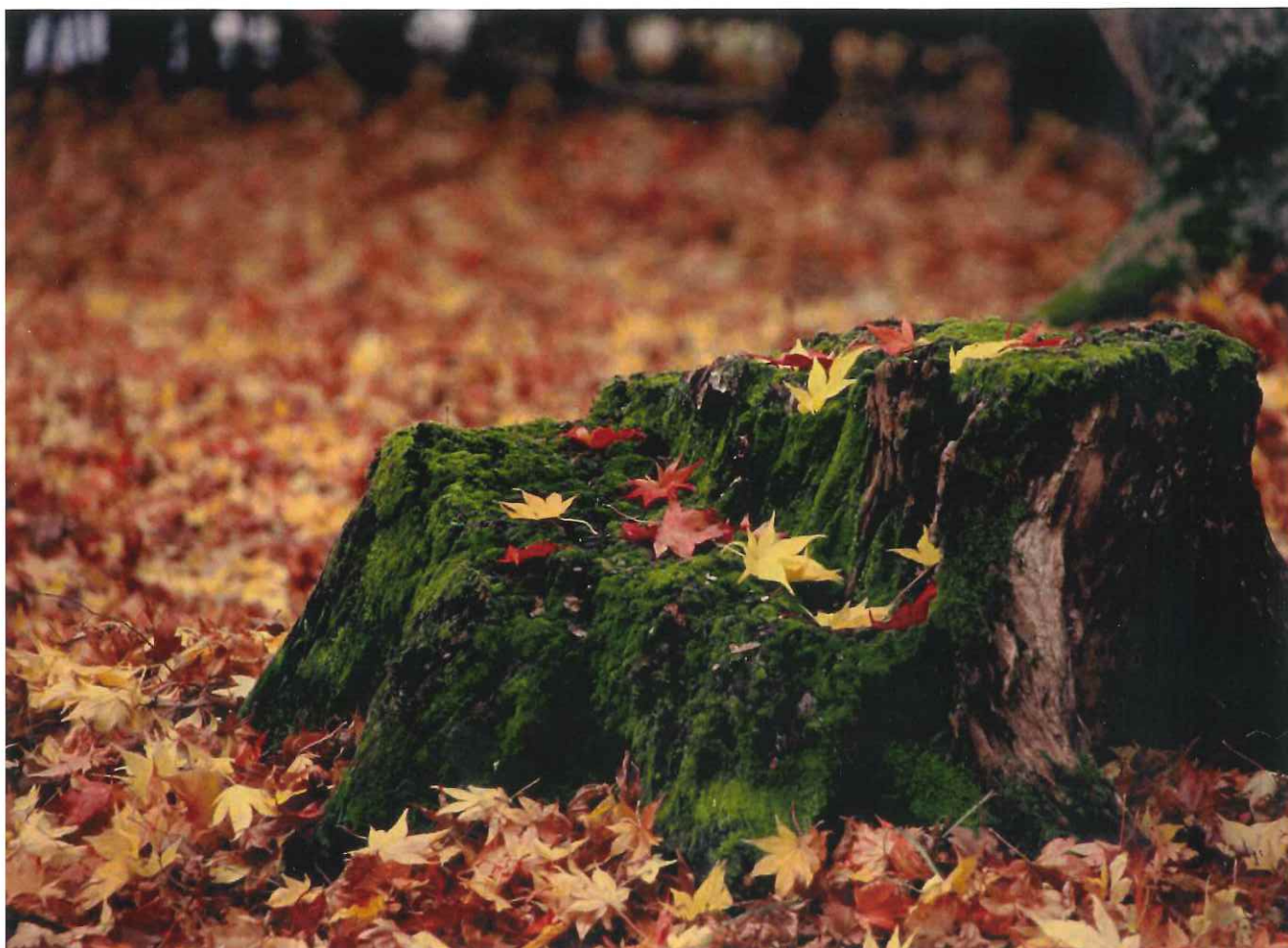
会報  
シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

# おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/odate/> メールアドレス [odate@sjc.ne.jp](mailto:odate@sjc.ne.jp)



## 五五

11月末現在会員数

男性 373人  
女性 112人  
計 485人

(前年度会員数)

男性 368人  
女性 132人  
計 500人

本年もよろしく  
お願い申し上げます

|        |     |    |     |    |    |    |    |     |    |    |      |     |    |
|--------|-----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|------|-----|----|
| 監事     | 監事  | 監事 | 理事  | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事  | 理事 | 理事 | 常務理事 | 副会長 | 会長 |
| 畠      | 和   | 千  | 佐   | 岩  | 千  | 山  | 安  | 鳴   | 伊  | 兜  | 木    | 利   | 浅  |
| 山      | 田   | 葉  | 藤   | 間  | 葉  | 本  | 田  | 海   | 藤  | 森  | 越    | 二   | 雄  |
| 他、職員一同 | 多香子 | 律子 | 久悟子 | 誠子 | 操  | 鋈  | 義  | アヤ子 | 衛  | 明  | 恵    | 勇   | 雄  |

### 謹賀新年

## 会長年頭あいさつ



会長  
浅利 二雄

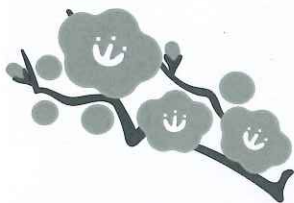
新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、6月14日の定時総会を皮切りに、本年度の事業が始まり、7月6日の一斉奉仕作業、連日の猛暑下での屋外作業等、会員の皆様のご協力に感謝し、これまで大過なく乗り切れたことを有難く思っております。

もとより、シルバー人材センター事業は、会員相互の助け合いによって成立します。それは、単なる職業紹介機関ではないということです。一人一人が、センターを構成するメンバーであるという自覚が求められるのです。具体的には総会、交流会、地域班会議等への出席をお願いしたいと思います。毎年10月は、全国シルバー人材センター普及啓発月間として、センターの事業紹介、会員増強のための手だてを講じております。当センターも「女性会員交流会」

「女性のための防災セミナー」大館市の出前講座「目指せ、健康寿命日本一」、等の講習会を行ってまいりました。また、県連合会の茂木事務局長をお招きし「シルバーの組織運営の整備について」理事等職員の研修会も実施しました。PR活動として、理事による田代地区の「たけのこ祭り」、「大館圏域産業祭」でのチラシ配布等も行いました。

センターは、超高齢社会を迎える中で、地域の高齢者の生活の安定のみならず地域経済や活力ある地域社会づくりに重要な役割を担っております。最近、人口減少に伴う労働力不足の視点から、70歳までの雇用延長、再雇用の状況が生じており、新規会員の入会が思わしくありません。会員は組織の基盤であり、安定した事業運営の根幹でありますから、会員を増強して、シルバー事業の一層の発展を期したいと思っておりますので、本年も宜しくお願い申し上げます。



## 大館市長あいさつ



大館市長  
石田健佑氏

新年あけましておめでとうございます。シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より、「自主・自立・協働・共助」を理念に、会員が「一丸となつて事業に取り組まれていること」に敬意を表します。

さて、我が国では、生産年齢人口の減少などの要因で、労働力不足の問題が日に日に深刻さを増しております。こうした状況に対処するため、国では、高齢者雇用安定法において、「65歳までの雇用確保」に加え、70歳までの就業機会確保の努力義務を事業者に求めています。

秋田労働局がまとめた「高年齢者雇用状況等報告」によると、県内で70歳以上まで働くことのできる制度を設けている企業の割合は5割を超え、全国上位となっております。これはいわゆる少子高齢化による若年層の労働力不足が一

因であることに加え、高齢者が培ってきた技術と経験、その力を求める企業が増えてきていることが最大の理由と考えられます。本市では約4割の市民が65歳以上の高齢者であり、貴センターの果たす役割はますます大きくなっていくものと考えております。

昨年9月の市長就任時に所信表明の中で、「私一人の力ではなく、皆様の知恵や経験と、私の行動力を掛け合わせられる政治を実現する」と申し述べました。

会員の皆様は、勤労意欲に富み、豊富な経験や技術を有しており、皆様の中に生じるシルバー人材センターの理念は私が掲げる「子や孫世代と共に栄える大館」の実現において大きな役割を担っていただけのもので期待しております。医療・介護・福祉・生活・社会のインフラを守り、市民が安心して暮らすことのできる明るい大館をつくってまいりますので、皆様の有する優れた知見を地域づくり、まちづくりの推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、貴センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

### 大館圏域産業祭で広報活動

10月26日(土)27日(日)に二  
 プロハチ公ドームで行われた第26  
 回大館圏域産業祭において、会場  
 にブースを設置してPR活動を行  
 いました。会員の就業風景の写真  
 展示や来場者への資料配布などで  
 シルバー人材センターへの関心醸  
 成、入会勧誘を行いました。  
 リーフレットを配布するなか、  
 シルバー人材センターに関心を  
 持って質問して下さる来場者の  
 方もいらつしやいました。



### 大館市へ支援要請

10月28日、恒例のシルバー支援  
 要請を行いました。浅利会長、木  
 越副会長、兜森事務局長ら4人が  
 市役所を訪問し、全国シルバー人  
 材センター事業協会決議文「地域  
 社会に貢献するシルバー人材セン  
 ターの決意と支援の要請書」を石  
 田健佑市長に手交させていただきました。  
 併せて日頃の支援に対す  
 るお礼と新年度の補助金確保、会  
 員への仕事の提供などもお願いし  
 てまいりました。



### 女性会員の防災セミナー

11月8日、大館市消防署より講  
 師の方をお迎えし、初の防災セミ  
 ナーを開催いたしました。  
 防災や減災に関する知識を共有  
 し、災害時に取るべき行動の再確  
 認を目的にし、15人が参加いたし  
 ました。実技では、心肺蘇生法と  
 自動体外式除細動器(AED)の  
 使用方法の指導を受け、人形を  
 使って正しい手の位置や姿勢、リ  
 ズムなど助言を受けながら、熱心  
 に取り組みました。



### フレイル予防講座開催

11月19日、大館市中央公民館で  
 大館市出前講座の「目指せ健康寿  
 命日本一フレイル予防講座」を  
 開催いたしました。  
 加齢とともに心身の活力が低下  
 し、要介護状態となる危険性の進  
 行を防ぎ、健康寿命を延ばすこと  
 を目的にした講座でした。  
 大館市健康課の保健師さんと歯  
 科衛生士さんに講師をしていただ  
 き、会員のほか大館市民合わせ  
 て、34人が受講いたしました。



新入会員紹介(敬称略)

|        |     |
|--------|-----|
| 小畑 久美子 | 一班  |
| 渡辺 真佐夫 | 二班  |
| 田村 浩   | 三班  |
| 佐々木 みよ | 三班  |
| 佐々木 利夫 | 五班  |
| 政川 悦夫  | 六班  |
| 小笠原 久  | 六班  |
| 中嶋 嘉英  | 七班  |
| 佐々木 一美 | 十一班 |
| 佐藤 成一  | 十二班 |
| 松前 るみ子 | 十三班 |
| 伊藤 幸子  | 十四班 |
| 中島 広俊  | 十四班 |
| 田中 照夫  | 十六班 |
| 畠山 光三  | 十六班 |
| 仲澤 由美子 | 十七班 |
| 戸田 悟   | 十八班 |
| 畠山 博   | 十八班 |
| 石山 正勝  | 二一班 |
| 佐藤 満   | 二三班 |
| 渡邊 克巳  | 二三班 |
| 渡邊 正憲  | 二三班 |
| 花田 廣夫  | 二三班 |
| 若宮 健嗣  | 二四班 |
| 佐藤 文男  | 二四班 |

令和6年8月(会報87号)以降に入会した会員です。新しい仲間を温かく迎えてください。

職場で活躍している  
新会員の就業感想です

浪岡 ゆかりさん

シルバー会員の知り合いから話を聞いて会員になりました。シルバーデビューの日、少し緊張しながら指定場所へ行き、そこで出会ったのが東京から大館に戻り、大館の活性化を真剣に考え頑張っている若い人たちでした。感心し、刺激になりました。

また、絵画展の受付業務では、絵画作成の情熱に驚き、絵画、BGM最高でした。

おかげで心が豊かになる出会いを経験させていただきました。元気に動けるうちは働き続けたいとポジティブになりました。

安原 春夫さん

今年1月に47年間のサラリーマン生活を終え、再就職を模索していた所、元同僚から老人介護施設の夜警業務の紹介があり、引き受ける事にしました。現役の頃は、常に仕事に追われ、余裕が持てなかつたように思います。今の業務は3人のシフト制で実働日数は月10日程度であり、臨時的に荷役作業等の単発業務も引き受けていま

すが、肉体的・精神的にも負担なく生活できています。

これからも自分の余裕ある時間を無理なく有効的に使い、セカンドライフを満喫していきたいと思っております。

富波 忠さん

私は某運送会社の定年を機に、18年にわたりメール及び宅急便のアルバイトをやつてまいりました。が、運送会社の経営方針により仕事が無くなり、体力維持及び認知症の予防も兼ねて、入会に至りました。入会后まもなく仕事をいただき、その後草刈り班が刈つた草等を集めて処分する仕事を現在しています。一緒に作業している会員の皆さんとても良くしてくれるので助かっています。

これからも健康及び老化現象防止の為にもう少し頑張ってみたいと思っております。

県連合会主催のハウスクリーニング講習を受講された方の感想です

和田 多香子さん

毎年、秋田県シルバー人材センター連合会技能講習案内を見て、

今年は何か自分の興味を引くものがあるかなと拝見しています。

今回のハウスクリーニング講習は、シルバーの仕事は勿論我が家の為にもなるかもと受講を申し込みました。

講習初日は、座学でしたがDVD放映も含めて分り易く説明頂きました。汚れの物質と除去方法、洗剤の使い方、安全作業についてと普段家庭で使用している洗剤の利用方法の勘違いなど学べてよかつたです。

2日目の実習では、効率的な仕方を学べて家庭ではもちろん、シルバーからの依頼があつた時には活かせるような気がします。特にモップの絞りは、既に清掃業務されている方たちも感嘆の様子でした。一番感動したのは窓拭きで、洗剤の量やスクイジーの運び方で仕上がりの出来が違つてくるということでした。

この度の受講によりシルバーからの仕事の種類に幅がで、自分の糧になり嬉しかつたです。

ボケ防止と仲間づくりのために入会しましたが、今後も連合会の案内チラシで自分の糧が少しでも増えていくのを楽しみにしています。

最後に今回の機会を与えてくださつて、ありがとうございました。

## 損害賠償責任保険の財政がピンチです

損害賠償責任保険の事故は、今年度も増加しています。毎年度、ほぼ同様の理由で事故が繰り返されています。

特に、多いのが「飛散させた物で損壊」です。

会員さんの中には、「いちいち飛散防止ネットをするのは面倒、なくても大丈夫!」「どうせ保険で対応してくれるから」と思われている方はいませんか?人に当たってしまったら大変なことで、後悔しても間に合いません。また事故の際の査定も厳しくなっています。このまま賠償保険金の支払いが多額になると保険財政が破綻し、就業自体ができなくなる可能性があります。

今一度、現状を再確認しましょう。

(当センターの事故は4件。損害額は、407,022円でした。)

## 「smile to smile」の登録のお願い

インターネットを利用した情報提供サービス「smile to smile (スマイル トゥ スマイル) サービス」を開始しました。スマホ・パソコン・タブレットから

- ◆「配分金明細書」(登録完了後、翌月から利用可能)
- ◆「センターからのお知らせ」
- ◆「就業情報」 これらを確認できるサービスです。

今回、通知書を同封いたしました。サービス利用までの流れをご覧になり、登録をお願いします。

※ご自分での登録となります。登録に不安な方は、事務局職員がお手伝いいたしますのでご連絡ください。

郵便料金等の値上げにより、「配分金明細書」の郵送を廃止いたします。

1月就業分(2/28振込分)以降の配分金明細書は、「smile to smile」を利用するか、配分金明細書を事務局へ取りに来ていただくかのどちらかになります。

近隣シルバー人材センターでは、すでにスマイル トゥ スマイルを活用中です。

11月に施行された「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」(フリーランス新法)により、書面または電磁的方法で就業条件の明示が必要となりました。会員の皆様はフリーランス(個人事業主)に該当いたしますので、今後センターでは就業条件を明示していきます。12月就業分までは書面にてお渡しいたしますが、それ以降は電磁的方法(smile to smile)で明示いたします。



# お知らせ

## 事務局長交代

小松原功秀事務局長辞任に伴い、9月の理事会で兜森忠明副会長が後任事務局長に選任されました。



## 年末年始休業のお知らせ

12月31日(火)～  
1月5日(日)まで

この期間は事務所が休業となります。ご不便をおかけします。

緊急時連絡(シルバー携帯)  
090-55526-1774

就業報告書は玄関の受箱をご利用ください。

## 確定申告の時期です

①シルバー配分金は、公的年金と同種の雑取得です。年金と配分金取得のみの方は55万円の特例控除があります。

②労働者派遣事業で働いた方は「給与所得」になります。

秋田県シルバー人材センター連合会から「源泉徴収票」が送付されますので配分金とは区別して「給与所得」として申告してください。

## 会員登録の継続と年会費自動引落しのお願い

令和7年度年会費の自動引落し事務の関係で継続して会員登録していただけるか、または退会されるか、確認のための「通知文書」が配布されます。

退会される方は「退会届」の提出をお願いします。期日までに届が提出されない場合は、継続して会員登録するものとしたします。

継続して会員登録される方は届出不要です。

継続会員登録の場合、ゆうちょ銀行の口座から年会費が自動引落しされます。手数料と年会費で3055円です。

3月21日(金)に引落しされますので、通帳残高の確認をお願いします。

## 就業相談窓口開設

会員のための就業相談をします。

- ・未就業会員で仕事を探している方
- ・新たな分野の仕事にチャレンジしたい方
- ・現在の仕事に悩んでいる方
- ・仕事上の相談事がある方

○日時 毎月15日

午前9時～午後3時  
一人 30分以内

○場所 センター事務室

○相談ご希望の方は、事前に電話で予約してください。

# 編集後記

新年あけましておめでとございます。会員の皆様には心新たに年を迎えたこととお慶び申し上げます。今号も大館市長様をはじめ、会員の皆様からの原稿をいただき感謝申し上げます。

今年の干支は「乙巳(きのこみ)」に当たり、脱皮して新しく生まれ変わる年といわれております。

わが大館市シルバー人材センターにおいても「成長」「変革」の年となるよう、知人等への声かけによる会員の増加や業務収入の底上げに向けて今ある就業先への声かけ等よろしくお願いいたします。これからは、会員自らが行動しなければならぬ時代となつてきております。シルバー一丸となつて新しい年を進んで行きましょう。

(千葉 誠 記)

【広報部員】 安田 兜森 伊藤

鳴海 千葉

【表紙写真提供】

成田 輝夫さん